### wget

HTTP通信でウェブリソースを取得し、受信した結果をlineフィールドに、サーバーのHTTPコードを\_wget\_codeフィールドに出力します。

#### 構文

wget [auth="ID:PASSWD"] [body=FIELD] [encoding=CHARSET] [format={form|json|xml}] [header=FIELD\_MAP\_TYPE] [method={delete|get|post|put}] [selector="CSS\_SELECTOR"] [timeout=NUM] [url="SITE\_URL"]

**auth="ID:PASSWD"**

HTTP基本認証に必要な情報を指定します。

**body=FIELD**

HTML本文として使用するフィールドを指定します。method=postまたはmethod=putと併用します。

**encoding=CHARSET**

文字列エンコーディング形式（デフォルト: utf-8）。以下のドキュメントに登録されているPreferred MIME NameまたはAliasesを使用してください: <https://www.iana.org/assignments/character-sets/character-sets.xhtml>

**format={form|json|xml}**

送信フォーマットをform、json、xmlから選択できます。REST API通信時に使用します（デフォルト: form）。

**header=FIELD\_MAP\_TYPE**

HTTPヘッダーとして使用するキーと値で構成されたマップ型フィールドを指定します。key、valueともに文字列型の値のみ送信されます。[dict()](https://docs.logpresso.comnull)関数を利用してキー・バリューのマップを指定することも可能です。

**method={delete|get|post|put}**

HTTPメソッドを指定します（デフォルト: get）。

postメソッドには以下の特徴があります。

1. 入力レコードのキーと値をx-www-form-urlencoded形式でURLエンコードして送信します。
2. urlオプションと併用できないため、headerオプションを利用してHTTPヘッダーを直接指定してください。

**selector="CSS\_SELECTOR"**

CSSのセレクタと同じ構文で、HTML DOMツリーから選択する要素を指定します。

**timeout=NUM**

HTTP接続のタイムアウト時間を秒単位で指定します（デフォルト: 30秒）。

**url="SITE\_URL"**

接続するウェブサービスのURLを指定します。指定したウェブアドレスにリクエストを送信し、レスポンスを受信します。

#### 使用例

RSSフィードのタイトル取得

wget url="https://logpresso.com/feed/" selector="item title" | explode elements | eval title = valueof(elements, "own\_text") | fields title

AbuseIPDBでIPアドレスのレピュテーションを確認

json "{}" | eval ip = "118.25.6.39" | eval headers = dict("Key", "YOUR\_API\_KEY", "Accept", "application/json") | eval url = concat("https://api.abuseipdb.com/api/v2/check?ipAddress=", ip, "&maxAgeInDays=90") | wget method=get header=headers | parsejson | parsemap field=data

AbuseIPDBへ悪性IPアドレスを通報

json "{}" | eval ip = "47.236.18.74", categories=14, comment = "Port scanning (count: 2790)" | eval headers = dict("Key", "YOUR\_API\_KEY", "Accept", "application/json") | eval url = concat("https://api.abuseipdb.com/api/v2/report") | wget method=post header=headers